

光輪

第143号
〒950-2022 新潟市西区小針4丁目5番18号
真宗佛光寺派 **瑞林寺 光輪会**
電話 (025) 266-1846・FAX (025) 266-1907
瑞林寺ホームページ http://www.zuirinji.com

寺役納め 12月29日(金)まで 寺役始め 1月6日(土)より



屏風絵 渡部解古・瑞林寺藏

除夜の鐘

12月31日 23:30より



令和6年 1月1日(元旦) 11:00~

修正会法要

※お屠蘇はありません

令和6年 1月28日(日) 13:30~

初お講 しんらんさまの日

瑞林寺の由来と歩み ―物尾編―



曹洞宗 昌興寺住職 石田哲彌師

妙徳院の功績とその恩賞②

偉大なる功績の発端となった妙徳院の祖父が、なんと、当寺、瑞林寺の開山の本庄実乃・智了法師であったということも、まさに奇縁といえるかもしれません。
妙徳院は二代將軍、徳川秀忠が亡くなったこともあり、大奥を引退しました。この時に「公武合体」・「徳川幕府安泰」をもたらした偉大なる功績からでしょうか、幕府から春日局の三百石を超える、なんと千石という破格な化餅料(退職金)を下賜されました(毎年千石が妙徳院に支給される)。
この時、妙徳院はその五百石を「戸隠山中院」に、また二百石を「関山宝蔵院」を惜し気もなく、それぞれ寺の伽藍復興のために寄進したのでした。

その後、妙徳院の師匠である天海僧正の方が大きく働いていたことはいまでもありません。妙徳院の果たした功績は今でも両社から讃えられています。
先の遺品はこのような妙徳院と天海僧正との深い関係から、妙徳院が隠棲した蔵王権現別当の安禅寺に遺されたものと推察されたのであります。

去る6月16日、新潟市におきまして新潟県文化財保護連盟の総会(新潟ユニゾンプラザ)が開催されました。その総会後、講演がありました。「重臣、本庄実乃の孫娘、絶世の美女、妙徳院の華麗なる生涯」のお話をさせて頂きました。
その当初にまずもって、先の「安禅寺のご開帳での発見」と、それにまつわる「妙徳院」そして「上杉謙信の育ての親、本庄実乃・新潟瑞林寺の開山智了法師」などの関係、さらには新潟県が生んだ、日本初の皇后、東福門院和子、明正天皇のお話をさせて頂きました。
県内の各地から集まりました文化財関係の皆様は「新潟県にこのよう

新潟県文化財保護連盟総会で

な、上杉謙信に勝とも劣らない、日本を動かした素晴らしい女性がい

たこと、そして新潟市とも深いつながりをもっていた」ことに大変驚き、興味深く聞いていただきました。
なにか目に見えないところで、赤い糸でつながっている。因縁の不思議さに、ただただ驚いているばかりであります。

ヨガ&膳

2024年度の開催予定
①2月4日(日) ②4月7日(日) ③6月2日(日)
④9月1日(日) ⑤12月1日(日)

次回 2月4日(日)

お問い合わせは 瑞林寺まで (025) 266-1846

朝7時 瑞林寺本堂集合
読経&ヨガ・法話・薬膳弁当とお話 参加費 5,500円

淤泥華

自坊報恩講も無事終わり、二十一日から二十八日まで本山の御正忌報恩講でした。
住職、二十三日の夕方から体調が悪く、二十四日、二十五日に診てもらったらインフルエンザの反応。
大事な御正忌報恩講を出勤できずに自室にて拘束です。
二十七日になって、法要の準備をしながらはならない当院海真までもインフルエンザになってしまいました。親子二人、本山に御迷惑をかけてしまいました。
特につらかったのは喉にきたことです。コロナ中のマスクが抵抗力を失わせたとの話も聞きます。
どうぞみなさまこれからのよい寒くなりますので御身体お大事にしてください。

報恩講懇志御礼

伊藤石五郎	羽下光盛	田口 哲治	井上 義光	石井キミ子	平野すみ子	渡部久兵衛	高地 徹	藤野 妙子	渡部 未松	樋口 佐次郎	池田 寛雄	栗原 恵理子	木村 則子	甘利 敏子	栗原 薫	横川 薫	村上 芳枝	仲由 謙二	渡辺 義博	
〔二万円〕	〔七千円〕	〔五千円〕	〔三千円〕	〔二千円〕	〔一千円〕	〔五百円〕	〔三百円〕	〔二百円〕	〔五十円〕	〔十円〕	〔五円〕	〔三円〕	〔二円〕	〔一円〕	〔五百円〕	〔三百円〕	〔二百円〕	〔五十円〕	〔十円〕	〔五円〕

令和6年 行事予定 (1月~5月) 詳細は都度ご案内いたします。 しんらんさまの日 13:30~

- 1月 1日 (月) 修正会法要 11:00~
- 1月 28日 (日) しんらんさまの日 (初お講)
- 2月 25日 (日) しんらんさまの日 新年世話方会議
- 3月 18日 (月) 春彼岸法要 本山差向布教
- 4月 28日 (日) しんらんさまの日
- 5月 26日 (日) しんらんさまの日

報恩講報告

十一月十一・十二日の二日間で開催させていただき、無事終了いたしました。初日に吉家教範使、翌日は祖父江住乃使を布教使としてお迎えいたしました。新潟日報に告知をしたので、近隣の方々の姿も多くありました。

今月の掲示板 (十一月・十二月)

11月 縁の不思議

12月 人の誕生 人の死は必然

その時その時の、何気ない出会いが、実は後になって、思いもよらない真実です。

生まれくる子どもは親を選べないことを「親ガチャ」というそうですね。ましてや生まれた時の事も覚えていません。生まれたのは偶然、しかし死は必ずやってくる。それなのに過去の後悔や未来の不安にとらわれて生きていくのが私です。死を前にしたら本当にやるべきことは何なのか自ずと決まってくるのではないのでしょうか。「死は必然」ゆるぎない真実です。

生まれくる子どもは親を選べないことを「親ガチャ」というそうですね。ましてや生まれた時の事も覚えていません。生まれたのは偶然、しかし死は必ずやってくる。それなのに過去の後悔や未来の不安にとらわれて生きていくのが私です。死を前にしたら本当にやるべきことは何なのか自ずと決まってくるのではないのでしょうか。「死は必然」ゆるぎない真実です。

新米 坊さん日記

時の流れは年と共に次第に足早になり、あっという間に過ぎ去ってしまっています。科学的には年齢を重ねる中で、比例するようにはトキメキが無くなるからだといいますが、幼少期はもの全てが初めてづくし、良いこと悪いこと、様々な経験を積んでいきます。その経験が増えること、事の結末も想像が付き、目新しいことは次第に無くなる。これがトキメキの減少です。どう考えても逃れることはできない、自然の摂理と言って良いのでしょうか。